

学校だより

令和6年5月1日



いちよう

目指す学校像

生徒一人一人の力が伸びる学校

新座市立第三中学校

〒352-0015 新座市池田1-1-1

TEL (048) 479-4052 FAX 482-0133

君たちはどう生きるか

校長 石田 和男

学校が始まって早1か月が経とうとしています。1年生は、学校生活に慣れて、少しずつ地が出てきましたが、楽しく学校生活を送っています。2・3年生も、昨年より一層充実している様子がうかがえ、令和6年度が良好な状況でスタートできたことを嬉しく思います。



さて、中学社会科の歴史の授業の最初の単元として「人類の出現と進化」があります。ここでは人類が進化してきた過程や人類の特徴、土器や石器の発明によって人々の生活が変化したことを学びます。授業で生徒に「人とそれ以外の動物との違いは？」と問うと「言葉を使う」とか「二足歩行」などと答えが返ってきます。人類は幾多の失敗や成功を経験し、そこから学び、進化してきました。経験から学び進化できる、これも人が他の動物と違うところだと考えることができます。歴史から、人は学習によって後天的に、他の動物にはない人としての能力を獲得し進化してきたことがわかります。人は学習によって「人」になるといえます。「狼の群れの中で育てられたカマラとアマラ」の話をご存知の方も多いと思います。“人は人から学び、人として成長する”ことや“適切な時期に適切な教育（愛情なども含まれます）を受けること、適切な学びを得ること”がその後の発達に影響するともいわれています。もし、学習する機会がなければ、教育を受ける機会がなければ、人はどうなってしまうのでしょうか？

子供たちを取り巻く環境が変化し、今は「3間（サンマ）…子供同士で遊ぶ時間、遊ぶ場所（空間）、心を開いて語り合える仲間」が減少したといわれています。学校は、子どもたちに教科の学習内容を身に付けさせるだけではなく、人との関わり、仲間との関わりから社会生活に必要なチカラを育てていく役割も担っています。本校では「自ら学ぶ 心豊かにたくましく」成長する子供たちの育成を目指しますが、皆さんの思い次第です。

5月2日(木) 三中校区合同引取訓練(避難訓練)、実施します！

本年1月1日に起きた能登半島地震をはじめとする自然災害は、いつ、どこで、どのように起こるかわかりません。もしも、起きたときに大切なことは、「安全に避難する」「自分の命を自分で守る」「みんなの命をみんなで守る」ことです。年度当初の訓練として、避難行動、避難経路の確認にプラスして、有事の際の動きとして小学校へ弟や妹を引き取りにいたり、地区ごとに集団下校をしたりします。中学生は、地域を支える役割を果たすことも期待されています。この機会に、有事の際、中学生に何ができるのかをご家庭で考えてみてください。

